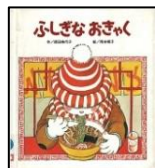


え 『ふしぎなおきゃく』
ひだ みよこ さく おかもと さつこ え
肥田 美代子/作 岡本 颯子/絵

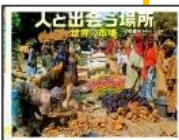


ひさかたチャイルド 目

「とんちんけん」はラーメンの美味しいおみせです。あるひ ラーメンを ひとくちだけたべてかえってしまう おきゃくが あらわれました。そのつぎのひも おみせにやってきて ふたくちだけたべて かえってしまいました。けんさんは 不思議なおきゃくの あとをつけてみることにしました。

ち 『人と出会う場所 世界の市場』

こまつ よしお しゃしん ぶん かん
小松 義夫/写真・文 アリス館 673



せかい にはたくさんの市場があります。

いつもは なにもない路上や 湖 の上にお店ができるのです。色とりどりのお花や、ニワトリやアルパカなどを売る、めずらしい市場が写真でたくさん紹介されています。

よ

『ぼくと母さんのキャラバン』

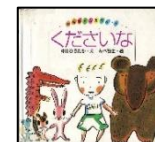
かしわば さちこ ちょ いずみ まさし え こうだんしゃ
柏葉 幸子/著 泉 雅史/絵 講談社 913カ



とつぜん ぼくの母さんが家からきた。巨大なネズミがぼくの目の前にあらわれて母さんを探していた。母さんは昔、荷を積んだラクダの「キャラバン」を引いて、ネズミがすむ世界に荷物を届けていたらしい。きた母さんの代わりに、ぼくがラクダを引いて荷物を運ぶことになってしまった！

よ 『くださいな』

なかがわ ぶん
中川 ひろたか/文



ひろし え かいせいしゃ
あべ 弘士/絵 偕成社 目

うさぎが おかいものをしていました。

「くださいな。」うさぎは にんじんを かいました。つぎは くまが きましたよ。くまは あおい さかなを かいました。みんなは なにかいいますか？

いらっしゃいませー



よ

『ふくろうのそめものや』

まつだに みよこ/ぶん わかやま しずこ え どうしんしゃ
松谷 みよこ/ぶん 和歌山 静子/え 童心社 目



むかしむかし とりたちはみんな きれいないろをしていましたが からすだけ まっしろでした。からすは ふくろうの そめものやにいきすばらしいいろに かえてもらおうとします。

『ナイトランチ』

え

エリック・ファン/文

ディーナ・シーファリング/絵

はしもと やく かがくどうじん
橋本 あゆみ/訳 化学同人 目



まんげつによる「ナイトランチ」が ばしゃで かけてくる。おなかをすかせた どうぶつたちが いいにおいに つられてやってきた。キツネにはミンスパイ、アナグマにはサンドイッチをどうぞ。みんなのすきなメニューを お出しします。

よ

『注文の多い料理店』

みやざわ けんじ さく いわさきしよてん
宮沢 賢治/作 岩崎書店 913



ふたりの若い紳士がお腹をすかせてあるいていました。山おくに山猫軒という西洋料理店をみつけます。扉には「注文の多い料理店ですからどうかそこはごしょうちください」と不思議なことが書かれています。店に入ると扉にはたくさんの注文が書かれていました。

ち 『江戸の長屋の朝昼晩』

みやた しょうじ ぶん せち え
宮田 章司/文 瀬知 エリカ/絵

いちかわ ひろあき かんしゅう えほんじゅくしゅつばん
市川 寛明/監修 絵本塾 出版 384



江戸時代のお店は、家の前までやってるのが当たり前でした。納豆やアサリを売る通りは、朝からおにぎわいです。調味料や茶わん、めがねなど生活に必要なものはすべてそろいます。ほかにはどんなもの売っているかみてみましょう。